町づくり審議会

基本構想と計画を答申

―町民憲章、町の花と木も選定―

洞爺湖町の指針となる「町づくり総合計画」を論議してきました町づくり審議会（伊藤博会長）が、総合計画の基本構想と基本計画の原案をまとめ、2月1日長崎町長に答申しました。

この基本構想は、平成19年から10年間の計画で、基本理念を「交流・連携」による活力づくり「安全・健康・環境」を重視した暮らしづくり「協働・自立」のまちづくりとしました。

そして、この理念を基に「湖海（うみ）と火山と緑の大地が結び合い元気をつくる交流のまち」を洞爺湖町の将来都市像とした、まちづくりに取組んでいくことを明らかにしました。

基本計画は、新たな定住と交流を生む都市基盤づくり 自然と共生する快適環境のまちづくり 交流と活力に満ちた元気産業のまちづくり やさしさあふれる健康福祉のまちづくり 人が輝き文化が香る生涯学習のまちづくり ともに築く協働・自立のまちづくりとした6つの章に分け将来計画を示しました。

答申では、伊藤会長が「住民と行政がパートナーシップをとり、効果的で効率的に施策を実行していただきたい」と申し入れました。

この構想は、3月6日からの定例議会に提出され、議会の承認を得て決定されました。

また3月30日には、同審議会から、町民憲章と町の「花」と「木」答申がだされ、花は、「すみれ」と「つつじ」。木は「さくら」と「ななかまど」に選定されました。

答申を渡す伊藤会長

町民憲章

＜前文＞

わたしたちは、美しい洞爺湖、みのり多き大地、さち豊かな内浦湾にいだかれた洞爺湖町の町民です。

＜本文＞

○豊かな自然と郷土を愛し
美しいまちをつくります

○地域に根ざした産業を生み育て
活力あるまちをつくります

○人々が輝き交流と文化が香る
生涯学習のまちをつくります

○健やかな心と体を育て
生きがいのあるまちをつくります

○人権を大切にし
安全で平和なまちをつくります

◆全文の前段部分は、町の現状と特徴を表現しています。後段部分は、憲章制度の意義並びに町民の決意を表現しています。

◆本文は、自然や環境・生活・産業・教育・福祉など様々な環境により一層の発展をめざす町づくりをイメージしています。

洞爺湖町行政改革大綱案等に関する意見公募の結果

洞爺湖町行政改革大綱案等に対する意見の公募について、平成19年3月7日（水）から平成19年3月26日（月）までの間、町民の皆様から広く意見を募集したところ、ご意見はありませんでした。

今回の募集について、ご協力いただきありがとうございました。

行財政改革推進室

町の木

ななかまど　さくら

町の花

つつじ　すみれ